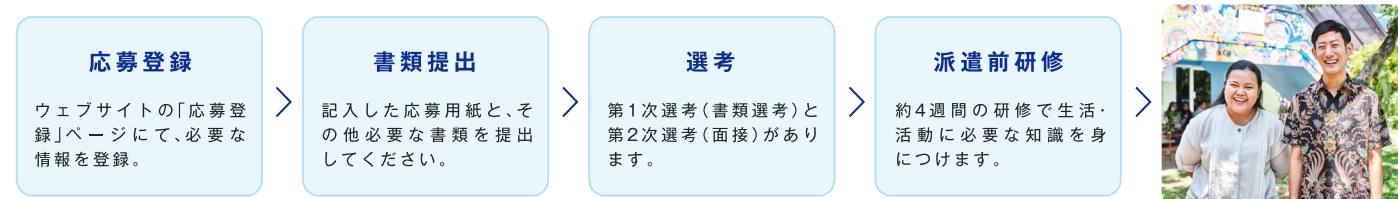


アジアの架け橋になる

そんな思いを持つ方のご応募をお待ちしています。

◆ 応募から出発までの流れ



◆ よくある質問

Q1

どのような人を求めていますか？

周囲の人々と協力しながら活動ができる方、言葉、宗教、習慣、文化、環境の違いによる困難があった場合も、前向きかつ謙虚な姿勢で問題解決に取り組める方を求めています。公的な立場で派遣され活動することを十分に理解し、自覚と責任をもって行動できることが非常に大切です。

Q2

どんな技術・知識や経験が必要ですか？

専門的知識や経験の有無は問いません。日本語の発音や会話の練習、日本文化紹介など、現地が求めるニーズに応じて創意工夫しながら活動することが求められます。

Q3

派遣中の住居について教えてください。

住居は国際交流基金が選定し提供します。安全性・利便性などを考慮しますが、現地の一般的な水準の住居となります。住居の形態は単身者用アパートや一戸建ての1室、派遣先の学校の寮など様々で、生活環境は派遣先によって大きく異なります。

◆ より詳しい情報や最新情報は

日本語パートナーズ派遣事業ウェブサイトをご覧ください。説明会の日程や詳しい応募要件、経験者の声、活動内容がわかる動画などを紹介しています。

<https://asiawa.jpf.go.jp/partners/>

メールマガジンやFacebook、X、YouTubeでは、募集情報や現地からの寄稿を配信しています。



◆ お問い合わせ

nihongopartners@jpf.go.jp

応募に関するお問い合わせはEメールにてお願いします。

JAPAN FOUNDATION 国際交流基金

独立行政法人 国際交流基金
日本語パートナーズ事業部 事業第2チーム
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ

国際交流基金は、総合的に国際文化交流を実施する、外務省所管の専門機関です。日本の友人をふやし、世界との絆を育むため、「文化」と「言語」と「対話」を通じて日本と世界とをつなぐ場をつくり、人々の間に共感や信頼、好意を育んでいます。

きっと誰かのためになる、
日本語で、海外で。

踏み出せば世界が広がる、未来が変わる

日本語 パートナーズ

日本語 パートナーズとは？

◆ 主な派遣先

インドネシア
カンボジア
タイ
フィリピン
ベトナム
マレーシア
ラオス
台湾
インド ほか



日本語パートナーズは、アジアの中学・高校などの日本語教師や生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや、日本文化の紹介を行います。
日本語教育の知識、経験、資格がない方も応募できます。
アジアで多くを発見・吸収し、それを周囲へ、未来へ広げる・・・
そんな人になってみませんか？



◆ 日本語パートナーズ”の魅力

◆ アジアの言葉や文化を学べる！

派遣先での活動や地域の人たちとの交流を通して、
現地の言葉や文化を学べます。

◆ 現地の暮らしを体験できる！

旅行や留学とは違う、現地社会に密着した暮らしが
体験できます。

◆ あなたらしい国際交流が始まる！

派遣期間中はもちろん、帰国後も、現地で知り合った
人たちを通して出会いの輪が広がります。



最新の派遣先・派遣期間については
日本語パートナーズ派遣事業ウェブサイトの
募集情報をご覧ください。

※派遣先の地域や住居は、日本語パートナーズの安全を考慮して国際交流基金が選定します。
※派遣先の都合などにより、派遣を延期または中止する場合があります。

◆ 日本語パートナーズの役割は、大きく3つ



POINT 1 授業のサポート

現地の日本語教師のアシスタント
として、授業のサポートを行います。



POINT 2 現地の人たちとの交流

日本文化の紹介を通じて、派遣先の
生徒や地域の人たちと交流します。



POINT 3 言語や文化の習得

現地で学んだ言葉や文化を
積極的に活用し、情報を発信します。

◆ どんな人が応募できるの？

- 満20歳から満69歳で日本国籍を有する方
- 日常英会話ができる方
- 派遣前研修(約4週間)へ全日程参加できる方

日本語教育の知識、経験、資格がない方も応募できます。
アジアとの交流に熱意を持った方の応募をお待ちしています！
※派遣先により条件が異なりますので、詳細は募集要項をご確認ください。
※派遣前研修は、状況により実施形式や期間が変更となる可能性があります。



◆ 現地での暮らしは大丈夫？

- 派遣前研修でしっかり準備！

生活や活動に必要な現地語、現地事情、現地日本語教師への
協力方法などの知識を身につけることができます。

- 国際交流基金がサポート！

滞在費、往復航空券、旅費などを支給し、住居を提供します。
また、国際交流基金は関係機関と連携を取り、安全確保・危機
管理の体制を整え、活動をサポートします。



◆ 日本語パートナーズ”経験者の声



活動を通して学んだのは、
「人を大切にする」こと

(ラオス8期) 山崎 杏奈 さん

困っている人に手を差し伸べる、相手を思いやる、そんなラオス人の心の暖かさに私は何度も触れました。その度に、「私は日本で、彼らのように自然な優しさで他者と接したことがあるだろうか？」と自問せずにはいられませんでした。海外の日本語教育について学びたくて日本語パートナーズに応募しましたが、活動を通して人間の根本的なことを多く学んだように思います。



日本語パートナーズの経験を活かし、
外国人の学びをサポート

(ベトナム3期) 三島 保 さん

長年、教員を務めていた私にとって、日本語パートナーズの経験はとても新鮮でやりがいのあるものでした。生徒たちとの交流など、全てが私の心の世界を広げ、教育への情熱を蘇らせてくれました。帰国後は、地元の小中学校で様々な国から来た児童生徒に日本語の支援をしています。ベトナムでは私自身が言葉の壁を経験したので、子どもたちの苦勞や気持ちに寄り添うことを大切にしています。



各派遣先の経験者の声は日本語パートナーズウェブサイトの「パートナーズの声」よりご覧いただけます。